

# LM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第67期 (決算日2016年8月23日) 第68期 (決算日2016年9月23日) 第69期 (決算日2016年10月24日)  
第70期 (決算日2016年11月24日) 第71期 (決算日2016年12月26日) 第72期 (決算日2017年1月23日)

作成対象期間 (2016年7月26日～2017年1月23日)

第72期末 (2017年1月23日)	
基準価額	3,963円
純資産総額	3,880百万円
第67期～第72期	
騰落率	11.2%
分配金(税込み)合計	160円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型)」は、2017年1月23日に第72期の決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

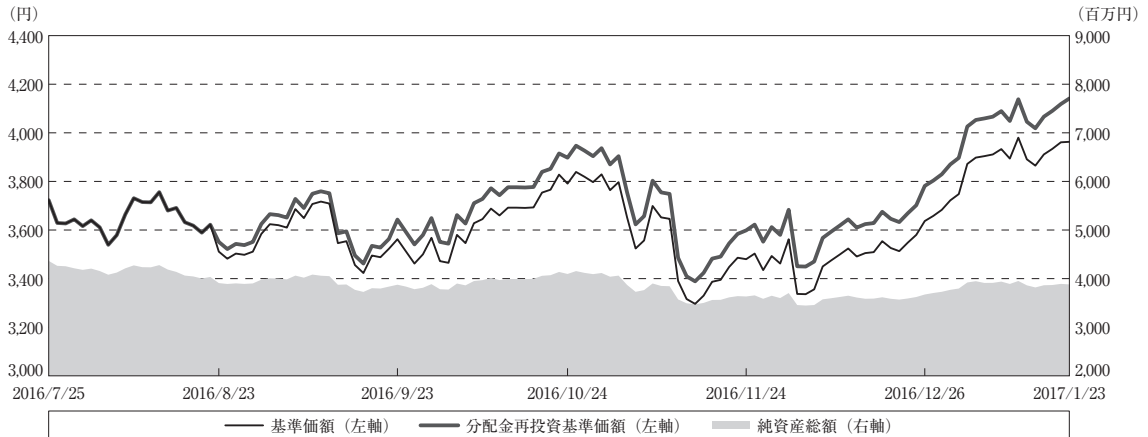
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2016年7月26日～2017年1月23日）



第67期首：3,723円

第72期末：3,963円（既払分配金（税込み）：160円）

騰落率：11.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年7月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2017年1月23日）のLM・ブラジル高配当株ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は3,963円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス11.2%（分配金再投資ベース）、基準価額は400円（分配金込み）上昇しました。株式要因、為替要因がともにプラスに寄与しました。

## 1万口当たりの費用明細

（2016年7月26日～2017年1月23日）

項 目	第67期～第72期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 34 (17) (17) ( 1)	% 0.953 (0.458) (0.458) (0.038)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	4 ( 4)	0.110 (0.110)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用)	5 ( 4) ( 0) ( 1)	0.134 (0.110) (0.006) (0.017)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	43	1.197	
作成期間の平均基準価額は、3,614円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

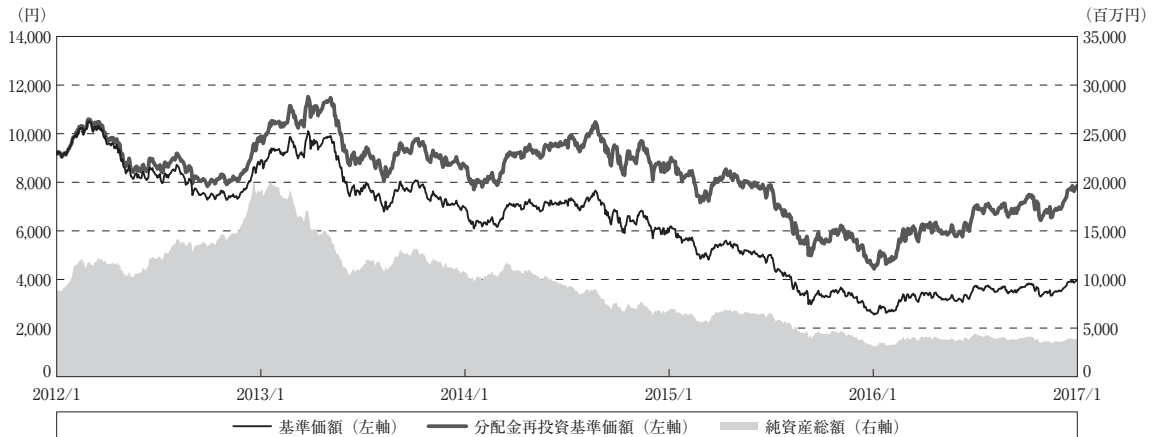
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2012年1月23日～2017年1月23日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2012年1月23日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年1月23日 決算日	2013年1月23日 決算日	2014年1月23日 決算日	2015年1月23日 決算日	2016年1月25日 決算日	2017年1月23日 決算日
基準価額 (円)	9,224	8,569	6,827	6,189	2,602	3,963
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	960	960	960	800	400
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.1	△10.2	4.6	△49.1	71.3
純資産総額 (百万円)	8,866	18,549	10,622	6,996	3,145	3,880

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較していません。

## 投資環境

（2016年7月26日～2017年1月23日）

当作成期のブラジル株式市場は上昇しました。

期の前半は、原油価格の上昇や、職務停止となっていたルセフ大統領の失職が正式に決定されたことなどを背景に、株式相場は底堅く推移しました。また、ブラジル中央銀行（BCB）による利下げ期待が浮上したことなども株価の下支え要因となりました。

期の半ばは、テメル政権による経済・財政運営に対する期待が高まったことなどから、株式相場は上昇基調となりました。さらに、BCBが2016年10月に4年ぶりとなる利下げを決定したことも、株価を押し上げました。その後は、米大統領選挙で事前の予想に反しトランプ氏が勝利すると株価は一時急落しましたが、トランプ次期政権による景気拡大策への期待感から米株式市場が上昇すると、ブラジルの株価も持ち直す展開となりました。

期の後半は、ブラジル国内の政局の不透明感に加え、米国の2017年の利上げペースが予想より速まる可能性が浮上したことなどから投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価は軟調となりました。しかしその後、米株式市場の上昇や、BCBによる追加利下げなどを好感し、株価は反発しました。

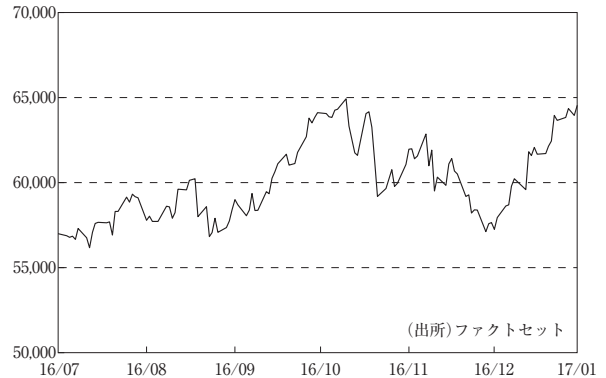
当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、BCBによる利下げ期待が後退し、リアル買い・円売りが一時優勢となりましたが、その後はBCBがリアル売り介入を継続したことや、BCBによる利下げ観測が浮上したことなどから、リアルは上値の重い展開となりました。

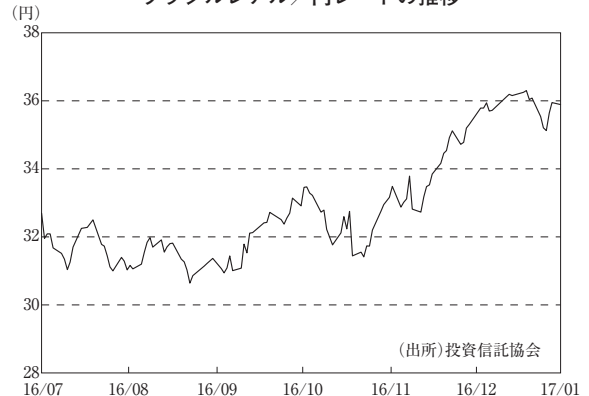
期の半ばは、ブラジル地方選挙で連立与党が躍進し、テメル政権の経済・財政運営にプラスとの見方が広がったことから、リアルは対円で上昇しました。原油価格が上昇し、リスク回避姿勢が和らいだことも、リアル買い・円売りを促す要因となりました。しかしその後は、原油価格が下落に転じたことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。

期の後半は、米大統領選挙の結果を受けて米国国債利回りが大きく上昇し、新興国資産から米国資産への資金流出懸念が浮上したことから、リアルは対円で下落しました。しかしその後は、BCBがリアルを下支えする為替介入を実施したことや、原油価格が上昇したことなどから、リアル買い・円売りが強まる展開となりました。

ブラジルボベスパ指数の推移



ブラジルリアル／円レートの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（2016年7月26日～2017年1月23日）

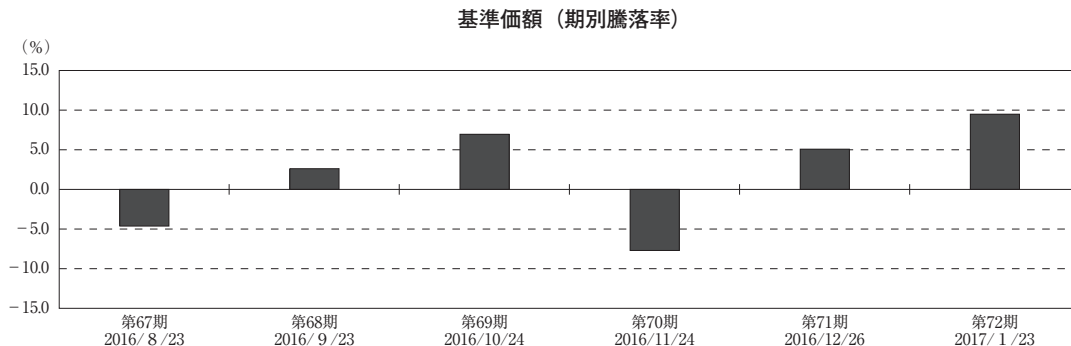
当ファンドは「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組み入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年7月26日～2017年1月23日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

（2016年7月26日～2017年1月23日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2016年7月26日 ～2016年8月23日	2016年8月24日 ～2016年9月23日	2016年9月24日 ～2016年10月24日	2016年10月25日 ～2016年11月24日	2016年11月25日 ～2016年12月26日	2016年12月27日 ～2017年1月23日
当期分配金	40	40	20	20	20	20
（対基準価額比率）	1.126%	1.110%	0.525%	0.571%	0.547%	0.502%
当期の収益	18	2	7	3	20	7
当期の収益以外	21	37	12	16	—	12
翌期繰越分配対象額	898	860	848	831	839	827

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

ブラジル経済については、ブラジル政府の歳出上限法案が上院で可決されるなどテメル政権による財政改革推進が、景気を下支えすると予想されます。今後は、年金改革法案の審議に注目が集まります。また、BCBがインフレ率の鈍化を背景に利下げを継続すると予想されることも、景気にプラスと見込まれます。

金融政策については、BCBは2017年1月の金融政策決定会合において、政策金利の0.75%引き下げ（13.75%⇒13.00%）を決定しました。インフレ見通しの改善や議会での財政改革審議の進展を受けて、BCBは緩和姿勢を継続するものと予想されます。

為替市場については、ブラジルの財政改革の進捗に加え、原油価格の安定などが、リアルをサポートするものと期待されます。また、ブラジルの景気に底打ちの兆しがみられている一方、日本では日銀が積極的な緩和姿勢を継続していることなどから、リアルは対円で底堅く推移することが予想されます。

株式市場については、政局のリスクは依然燻ってはいるものの、財政改革の進展や景気回復への期待感が、株式市場の牽引役となると予想されます。今後は、年金改革法案の審議に注目が集まります。また、BCBがインフレ見通しの改善を背景に利下げを継続すると見込まれることも、株価の下支え要因となると予想されます。

## お知らせ

該当事項はございません。

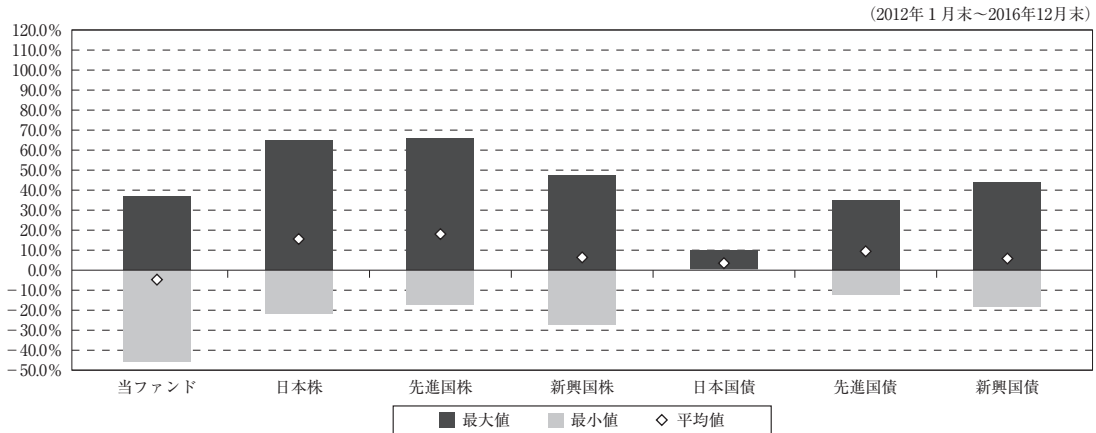
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年1月24日～2021年1月25日まで	
運用方針	主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	



## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.9	65.0	65.7	47.4	10.1	34.9	44.1
最小値	△45.7	△22.0	△17.5	△27.4	0.5	△12.3	△18.1
平均値	△4.8	15.4	17.9	6.2	3.4	9.3	5.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年1月から2016年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

#### \*各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2017年1月23日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第72期末
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	100.7%
組入銘柄数	1銘柄

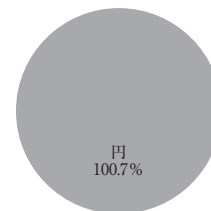
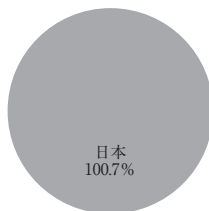
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

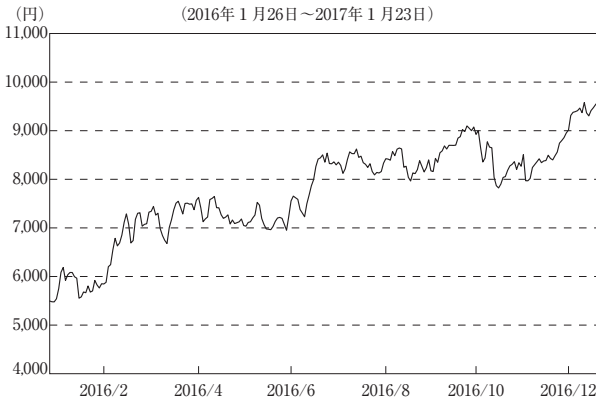
項目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2016年8月23日	2016年9月23日	2016年10月24日	2016年11月24日	2016年12月26日	2017年1月23日
純資産総額	3,908,463,853円	3,874,328,273円	4,095,855,411円	3,632,549,594円	3,673,131,803円	3,880,894,556円
受益権総口数	11,131,018,989口	10,876,154,120口	10,805,024,684口	10,438,653,886口	10,100,686,949口	9,791,871,980口
1万円当たり基準価額	3,511円	3,562円	3,791円	3,480円	3,637円	3,963円

\* 当作成期間（第67期～第72期）中における追加設定元本額は580,236,518円、同解約元本額は2,512,112,736円です。

## 組入上位ファンドの概要

## LM・ブラジル高配当株マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2016年1月26日～2017年1月23日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	20 (20)	0.265 (0.265)
(b) その他費用 (保 管 費 用)	17 (17)	0.215 (0.215)
合 計	37	0.480

期中の平均基準価額は、7,709円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2017年1月23日現在)

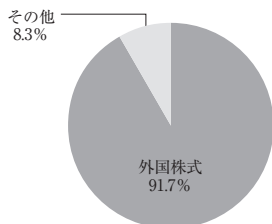
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	金融	ブラジルリアル	ブラジル	9.0
2	BANCO BRADESCO SA-PREF	金融	ブラジルリアル	ブラジル	8.9
3	TELEFONICA BRASIL S.A.	電気通信サービス	ブラジルリアル	ブラジル	7.3
4	BM&FBOVESPA SA	金融	ブラジルリアル	ブラジル	6.9
5	CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	6.4
6	CIA SANEAMENTO DO PARANA-PRF	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	5.7
7	COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO	エネルギー	ブラジルリアル	ブラジル	4.9
8	TRANSMISSORA ALIANCA DE-UNIT	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	4.5
9	AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	4.3
10	MAHLE-METAL LEVE SA	一般消費財・サービス	ブラジルリアル	ブラジル	4.2
	組入銘柄数			20銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

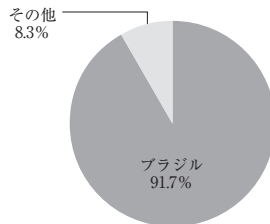
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

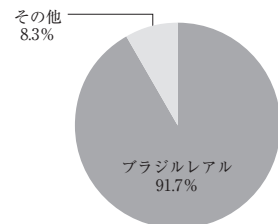
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。